

2017年7月度（第352回）ライフサイエンス分科会

開催日時：2017年7月20日（木） 14:00～17:00

開催場所：日本図書館協会会館5階 会議室

参加人数：12名

記入者： 富士フィルム知財情報リサーチ 森田 健介
ファイザー株式会社 新貝 佳世

第一部 クラリベイト・アナリティクス社による商品、サービスの紹介

前半：Cortellisを中心とするLife Science関連データベースの紹介

質疑

- アライアンス関係の情報が収録されている[Deals Intelligence]には、米国の情報公開請求制度を利用して入手した契約書全文が収録されているものもある。
- [Newport]には医薬原薬の合成経路情報が収録されているが、こちらはプレスリリースや特許が情報源

後半：機械学習を活用して自社技術の新用途を見出す手法の紹介

データベースとして[Derwent Innovation]と[Web of Science Core Collection]を利用して機械学習を用いて自社の特許出願等を分析することによって、既存技術の優位性を活用でき、成長性の高い分野を特定できる。

第二部

ガイドラインがあるものの、用法用量が医師の判断に委ねられているバイアル製剤について実際に使用されている用量や患者数の調査方法について議論した。

- 処方情報は保険請求ベースでのデータなら入手可能なものの、院内の処方指示書の情報はデータベースなどからは入手困難である。
- 複数の適応を持つ薬剤がどの適応に対して使用されたかについては、IMSの処方箋情報などから入手できる。